

火の魂カンパニーで働く皆さんいつも本当にありがとう。

8月になり、火の魂カンパニーでは14期が始まりました。

その最中ではありますが、私が体調を崩してしまい7月21日より2週間ほど入院してしまい、多くの方にご心配をお掛けしました。その時に社員の皆からの温かいビデオメッセージや願いが込められた千羽鶴を頂き、前向きな気持ちで療養する事ができました。

この場を借りて、お礼させていただきます。本当にありがとうございました。

皆さんからいただいた事が心から嬉しかったです。

8月から14期になりましたが、今期もどうぞよろしくお願ひします。

さて、今月の社長からの手紙は、13期の振り返りをしていきたいと思う。

2021年の13期は、創業期から数えると16年の期が7月31日で幕を閉じたことになる。ようやく、コロナで緊急事態宣言が終わったかと思うと、ウクライナ情勢で日本経済にも大きなダメージを与えている。その影響は私達だけでなく、すべての業界や勿論、皆さん生活にもリアルに影響が出ている事と思います。

原油高騰により、全ての運送コストが上がり、小麦や油だけでなく、日本のように輸入に頼っている国では陸海ともに運送が関係していない物など無いわけだから、全ての生活必需品が高騰している。それと同時に、円安で日本円の価値は大きく下がり、輸入する物の全てが価格高騰しているのが私達企業だけでなく、皆さんの生活にも影響が直撃しているのは、それらが最もわかりやすい原因になっているのです。

とは言え、これは火の魂カンパニーだけの問題ではなく、社会的であり世界的な問題であることが言えます。私が経営者として肌身で感じているのは、コロナの緊急事態宣言のときよりも、正直、企業も皆さんも「今から」のほうが、更に厳しい状況になることは予想しているし、予想ではなく直面していると言っても過言ではない状況です。

こんな事を手紙で書いて、不安心を煽りたい訳ではなく、ここから火の魂カンパニーは5年間で3倍の規模の大きさになる企業になることを、私は約束する。

ピンチはチャンスと言うように、火の魂カンパニーはコロナ禍で多くの人財を採用し教育し続けてきました。その人財たちと共に私は入院生活中に5年で3倍の事業計画を立てました。本当に夢がある計画に仕上がり、病室で鼻息が上がるほどの「夢の計画」を用意し、その夢の計画に火の魂カンパニーの社員と共に挑戦していきます。

特に入社して3年以上の社員には専門的な仕事を任せる人を選任し、3年未満の社員には驚くようなキャリアを発表しようと考えています。

その全てがALLWINを体現することであり、火の魂カンパニーでしかできない事を社員と共に14期は創り上げます。社員の皆さん14期の経営計画発表会は8月31日です。

14期の5カ年事業計画を楽しみにしててください。